

会 議 録

会議の名称	令和3年度第1回まち・ひと・しごと創生懇談会
開催日時	令和3年11月18日(木) 午前 午後3時00分から 午前 午後5時10分まで
開催場所	早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター 2F 情報資料室
出席者	今井副市長 (委員) 広瀬 伸一委員、岩上 高男委員、石井 勝之委員、 須田 修二委員、間庭 英雄委員、目黒 貴史委員、 間正 良昭委員、高橋 博志委員、塩谷 和弘委員、 稲継 裕昭委員、森久保 晶彦委員、 新穂 博委員、戸谷 清一委員 (事務局) 内田企画財政部長、駒澤総務部長、 青木市民生活部長、原福祉部長、岡野保健部長、 葦塚経済環境部長、加藤都市整備部長、 高橋教育委員会事務局長、境野議会事務局長、 佐藤上下水道部長 企画課：橋本課長、日野課長補佐、千田主査、 金澤主任、渡邊主事
欠席者	明堂 純子委員、田邊 晶子委員、岩田 洋委員、 富沢 峰雄委員、小林 由美委員、江原 貞治委員、 瀬山 公一委員、黒田 勇輝委員、久保田 浩史委員、 栗原 理恵委員、伊藤 佳子委員
議題 (次第)	1. 開会 2. 委嘱状交付 3. あいさつ 4. 自己紹介 5. 議事 (1) 本庄市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証報告書について 6. 閉会

様 式

<p>配 付 資 料</p>	<p>令和3年度 第1回まち・ひと・しごと創生懇談会次第 資料1 本庄市まち・ひと・しごと創生懇談会委員名簿 資料2 本庄市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗状況と事業の評価について 資料3 本庄市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業評価シート(R2年度分) 資料4 参考資料 本庄市まち・ひと・しごと創生総合戦略 関連統計資料 資料5 本庄市まち・ひと・しごと創生総合戦略(令和3年3月改訂版)</p>
<p>その他特記事項</p>	
<p>主 管 課</p>	<p>企画財政部企画課</p>

会議の経過	
発言者	発言内容・決定事項等
1. 開会	
事務局	ただいまより、令和3年度第1回本庄市まち・ひと・しごと創生懇談会を開催させていただきます。
2. 委嘱状の交付 今井副市長より交付	
3. あいさつ	
今井副市長	<p>本日は令和3年度第1回本庄市まち・ひと・しごと創生懇談会にご多忙の中、ご参加いただきありがとうございます。</p> <p>本来であれば吉田市長よりご挨拶申し上げるところでございますが、公務で出張しておりまして、代わりに私がご挨拶申し上げます。</p> <p>この総合戦略は、平成28年3月に作成した前総合戦略の方向性を維持しつつ、新たな視点として、SDGsの導入や国の新たな基本的な考え方（「多様な人材の活躍を推進する」、「新しい時代の流れを力にする」といった横断的な目標。）を勘案し、各種施策・事業を展開するもので、令和2年から令和4年度までの3年間を期間として、策定したものです。</p> <p>今回の創生懇談会は、今年度第1回目ということで、委員の皆さまにおかれましては、総合戦略における各種施策・事業推進のため、忌憚のないご意見を頂戴できればと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>また、座長におかれましては、本市行政の推進にあたり、日頃より専門的な見地から様々なご協力を賜りまして、ありがとうございます。本日も、どうぞ、よろしくお願いいたします。</p> <p>以上、簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。</p>
座長	<p>昨年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、このような対面による会議が困難な状況となり、非常に会議の少ない1年となりました。</p> <p>これは審議会や他の地方自治体でもそうですが、オンラインでできるところはオンラインで開催、オンラインが困難な場合は書面開催との使い分けをしておりました。具体例を申し上げますと、杉並区は原則書面開催としておりました。</p> <p>若干ですね、ワクチンの接種が進んだ影響もありまして、全国的に感染者数が低くなってきた背景もあり、今回このような会議形式にて開催をしていただけて大変嬉しく思っております。私もち</p>

	<p>くさんのオンライン会議に参加しており、研究室から議事進行等をしながらよく参加しておりますが、特に画面共有をしている場合は、他の方にご意見等を伺いにくかったり、反対意見が出しにくい状況等があります。従いまして、会議形式にて開催することは、実際に会って話し合いができるということで、非常に良い事であると改めて実感しております。</p> <p>先ほど今井副市長より、ご説明がありましたが、改訂されたまち・ひと・しごと創生総合戦略、現在それに沿ってですね、様々な事業に取り組んでいる経緯がございます。</p> <p>コロナ禍においてですね、デジタル化が大きな課題になってきており、日本は2000年の初めにIT基本法を制定し、様々なIT戦略等を推進しておりますが、なかなか機能していない事がわかりました。具体的には、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策関連の特別定額給付金となりますが、この給付金はマイナンバーを活用し、行政サービスの情報システム担当の団体であるJ-LISというところの実施でも結局うまくいかなく、様々な不都合が生まれました。そのようなこともあってですね、特に昨年12月25日に閣議決定をし、「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」の決定。そして、地方公共団体が主体の自治体DX推進計画というものが策定されまして、各自治体にて取り組んでおります。これには様々な財政措置があり、この仕組みに2,000億円の予算措置があるとか、これについては何の予算措置があるとか、様々なメニューが提示されていて、これは全国の自治体がこれから競ってこのDX（デジタルトランスフォーメーション）に向けて取り組んでいく、新たなフェーズに昨年度以降、動き出しているように思います。この自治体DX推進計画によると、2026年3月から一応の目途とすることになっておりまして、この地方創生総合戦略のですね、期間と並行しながら、本庄市におかれては適切に推進していくことと思います。そのような中で、本日は地方創生総合戦略における皆様方の様々なご意見等を頂戴したいと思っております。</p> <p>少し長くなりましたが、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>4. 自己紹介 各自自己紹介（委員・事務局）</p>	
<p>5. 議事 (1) 本庄市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証報告書について</p>	
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、議事に入らせていただきます。ここからの議事進行は座長にお願いしたいと思います。それでは、座長よろしくお願</p>

	いたします。
座長	<p>それでは、ここから座長を勤めさせていただきます。</p> <p>議事の(1)本庄市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証報告書について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料2 本庄市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗状況と事業の評価について</p> <p>資料3 本庄市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業評価シート (R2年度分)</p> <p>資料4 参考資料 本庄市まち・ひと・しごと創生総合戦略 関連統計資料</p> <p>に基づき説明</p>
座長	<p>ただいま事務局より資料の説明がありましたが、検証報告書等について皆様それぞれご意見やご質問等あるかと思いますので、名簿の順番に伺わせていただきたいと思います。</p> <p>はじめに、1番の委員よろしくお願いたします。</p>
委員	<p>先ほどご説明頂きました、事業評価のA～E評価におけるD又はE評価となった主な要因を伺いたいと思います。</p> <p>また、ご説明にはありませんでしたが、SDGsとの関連性について、伺いたいと思います。</p>
事務局	<p>まず、D又はE評価となった主な要因について、申し上げます。</p> <p>令和2年度におきましては、新型コロナウイルス感染症による影響が大きいと考えております。具体的には、イベントや教室を開催する事業で、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった場合、そもそも事業の効果を図ることができないため、E評価となります。</p> <p>一方で、開催はできたものの参加者数が新型コロナウイルス感染拡大の影響で例年より減少したなど効果的でなかったと判断した場合は、D評価となっております。</p>
座長	SDGsとの関連性について、いかがでしょうか。
事務局	<p>SDGsとの関連性について、申し上げます。</p> <p>この総合戦略につきましては、SDGsの掲げる目標を各課における施策・事業に結び付けて取り組んでおり、SDGs達成に向けた取組を推進しております。</p>
委員	<p>新型コロナウイルス感染症による影響とのご説明はわかりましたが、救急医療体制の整備に向けた検討等の事業についても、同様の理由でE評価ということでしょうか。</p>
保健部長	<p>救急医療体制の整備に向けた検討等の事業の評価等について、申し上げます。</p>

	<p>実際の取組といたしましては、現在の救急医療体制の状況の確認、先進地の大学附属病院等の誘致等の取組について、情報収集を行いました。こちらの KPI につきましては、策定当初から不明と設定をさせていただいております。理由といたしましては、実績値の把握が非常に難しいものであり、併せて目標自体も設定が非常に難しいということでこのような状況にさせていただいております。</p> <p>従いまして、この事業につきましては、新たにこれを KPI と設定すること自体が現在できていないということでの E 評価となっております。</p>
座長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、次の委員よろしく願いいたします。</p>
委員	<p>それでは、資料を見させていただいてですね、企業誘致あるいは定住人口増加、これからはですね当然魅力ある地域を目指していかなければ、大学生等の若者が地域に戻って来るということはありません。</p> <p>企業誘致について、現状を見ますと、企業誘致先が飽和状態に達しているように感じます。</p> <p>もう 1 つは、本庄児玉 IC 周辺などですね、その辺りをより有効活用できないかとも思っております。今度はどこを企業誘致したら良いか、次はどこを企業誘致場所とするか、順次推進していると思いますが、企業誘致することによって、本庄市からの転出者が就職のために戻って来る可能性がありますので、企業誘致に関する本庄市の方向性や考え等を伺いたいと思います。</p>
座長	<p>ありがとうございます。それでは、事務局お願いします。</p>
経済環境部長	<p>本市における企業誘致について、申し上げます。</p> <p>まず、企業誘致先につきましては、工業団地は現在 4 か所ございますが、それにつきましては、現在ほぼ満杯といった状況となります。従いまして、委員のおっしゃるような新たな大規模用地と言いますか、違う土地を確保しなければならないと認識しております。</p> <p>本庄児玉 IC 周辺につきましても、先ほどご指摘のとおり、より有効活用できるよう県の関係機関等と調整をさせていただいております。</p>
委員	<p>今後についてですが、都市計画区域外にある農地等に対する土地利用についても、本庄市として見直していく段階に来ていると思います。</p>
都市整備部長	<p>都市計画区域外にある農地等に対する土地利用について、申し上げます。</p>

	<p>農業と工業の関係は非常に難しい点がございまして、青地を外して工業団地となると、市の判断ではできない部分がございます。県につきましても、国の許可を得る必要があります、非常に労力がかかることが想定され、必ずしも利益を得るとも言いきれません。</p> <p>しかし、委員のおっしゃるとおり、見直していく必要があると認識しておりますので、時間はかかるかと思いますが国や県の関係機関等と調整を進めていきたいと思っております。</p>
座長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、次の委員よろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>私からは、特にございません。</p>
座長	<p>それでは、次の委員よろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>新型コロナウイルス感染症による影響で急激に減少している部分は仕方ないと思いますが、例えば個別施策の「⑦地域の子育て支援ネットワークづくり」、「⑩多文化共生の推進」、「⑤観光拠点の整備」、「⑥観光の推進」等について、新型コロナウイルス感染症対策に関して何か特別にアクションを起こしているようなことはありますか。</p>
市民生活部長	<p>「⑩多文化共生の推進」について、申し上げます。</p> <p>この施策につきましては、人に来ていただくことで、効果が発揮される場所がございます。そのような中で、様々なソフト事業の充実に取り組みました。今後は県内の感染状況等を考慮しながら、イベント開催等に取り組んでいきたいと思っております。</p>
保健部長	<p>「⑦地域の子育て支援ネットワークづくり」について、申し上げます。</p> <p>確かに人が集まるということが難しくなりましたが、ICTを活用した動画配信という手段を通じて、「オンラインにおける子育て支援」というコンセプトに転換することで、間接的な支援を推進させていただきました。</p>
経済環境部長	<p>「⑤観光拠点の整備」、「⑥観光の推進」について、申し上げます。</p> <p>本日皆様に配布させていただいたのですが、11月20日（土）に児玉の競進社のところで「小さな市場」というマーケットを開催予定でして、それから、「本庄市デジタルスタンプラリー」、こちらと併せまして「本庄市文化財スタンプラリー」でございまして。特にスタンプラリーにつきましては、コロナ禍で集まっていただくことが難しい中で、QRコードを使ったデジタルスタンプラリーということで、通常の紙ではなく、スマートフォンを活用して皆様に楽しんでいただくようになっており、色々な工夫をさせていただいております。</p>

座長	<p>ありがとうございました。</p> <p>コロナ禍においても、様々な工夫をしながら事業に取り組んでいらっしゃるのことがわかりました。国際交流についても、Zoom等を活用したオンラインイベントを実施しているところもありますので、工夫しながら取り組むことが重要だと思います。</p> <p>続いて、次の委員よろしく願いいたします。</p>
委員	<p>保育園の立場で申し上げますが、私の保育園の入園希望者の方々と話していて感じるのが、今年度に関しましては、都内から本庄市に引っ越して来て入園したいという方が非常に多く感じます。例年だと都内からは0人という状況なのですが、本日も都内から引っ越して来た方が入園希望ということで、お越しく下さいました。そういった意味では、埼玉県北部の本庄市の保育園や幼稚園にもようやく都内からの入園希望者が来てくれるようになったと嬉しく思っております。</p> <p>都内からの入園希望者に伺ってみたところ、本庄市は埼玉県北部地域の中で、保育園や幼稚園に入りやすい環境であるとの情報をよく聞くとのことでした。そのような魅力の本庄市はより強みにして取り組んでいくと良いのではないかと思います。</p> <p>コロナ禍において、保育園や幼稚園になかなか入れない状況だと聞いております。子供を見ながらだとなかなかテレワーク等も難しい状況だと思いますので、社会状況を取り入れた事業を推進することで、本庄市の魅力がより輝くのではないかと感じております。</p> <p>それから資料について、2点程伺いたいと思います。</p> <p>個別施策の「②空き家対策等の推進」について、市内の空き家を見ますと、草木が生い茂っているところをよく見かけます。このような空き家に対する指導や基準等について、伺いたいと思います。</p> <p>もう1点が、具体的事業の「⑱婚活イベント支援事業」について、現在はマッチングアプリを通じて出会い、オンラインイベント等に参加することが主流となっているかと思いますが、本庄市において、どのような支援事業に取り組んでいるか伺いたいと思います。</p>
座長	<p>ありがとうございました。</p> <p>2点程ございましたので、事務局よりお願いします。</p>
都市整備部長	<p>「②空き家対策等の推進」について、申し上げます。</p> <p>空き家の維持管理につきましては、それぞれ所有者の方がいらっしゃいますので、まずは所有者にやっていただくことが前提となっておりますが、例年固定資産税の納税通知書を送付する際、空</p>

	<p>き家の所有者の方には、維持管理のお願いにかかる通知を同封しております。</p> <p>また、市から空き家の所有者の方宛てにアンケートを実施いたしました。そのアンケートを通じて了解を得られた方には、不動産業者を紹介し、不動産業者に仲介していただくことで、別の所有者を探すという体制の整備を考えております。</p>
座長	KPI にあります「条例に基づく除草指導件数」については、徐々に減少させていくとの捉え方で良いということですね。
都市整備部長	おっしゃるとおりでございます。基準値が実数となっておりますので、徐々に減らしていくことが目標となっております。
企画財政部長	<p>「⑱婚活イベント支援事業」について、申し上げます。資料2の4ページになりますが、「イベント参加者数」というKPIを設けており、昨年度は新型コロナウイルス感染症による影響で、数値は下がっております。事業内容といたしましては、2種類の事業がございまして、1つ目が北部7市町の結婚支援事業部会の事業、2つ目が埼玉県主体の事業となりますが、SAITAMA 出会いサポートセンターという事業となります。この SAITAMA 出会いサポートセンターにつきましては、県内3か所にセンターを設けておりまして、さいたま市、坂戸市、本庄市の3か所となります。活動内容といたしましては、昨年度は2回取組を実施しておりまして、1つ目が、恋たま本庄センターが主催の「オンライン婚活パーティー」となります。当日は28名の参加者がおり、その中で3組がマッチングし、カップルが成立しました。</p> <p>もう一つのイベントとしては、写真撮影と占い鑑定イベントというオフラインによる企画を開催いたしまして、こういうイベントを用意しました。</p> <p>コロナ禍においてですが、できる形で婚活支援を取り組んでまいりまして、今後もできる範囲で取組を実施していきたいと思っております。</p>
委員	<p>もう1点よろしいでしょうか。</p> <p>空き家と類似していますが、放置されている農地に対する取組等は、どのようなことをされているのでしょうか。</p>
経済環境部長	<p>放置されている農地について、申し上げます。</p> <p>おっしゃるとおり本市としても問題となっております。取組といたしましては、農業委員会において農業委員や農地利用最適化推進委員により、遊休農地等の状況調査を目的とした農地パトロールを実施しております。その中で、草が生い茂っているような放置されている農地につきましては、農業委員会が指導をしてお</p>

	<p>ります。</p> <p>また、農地以外の放置されているような空き地につきましても、件数が増えておりまして、啓発という形になりますが、今年度から、毎年9月30日をクサゼロの日、9月30日から10月31日までをクサゼロ運動期間とし、家庭や職場周辺、空き地など身近なところでの除草活動を「クサゼロ運動」として推進することといたしました。暑さも和らぐ時期に、市民の皆様にも是非取り組んでいただこうと、啓発活動を始めているところでございます。</p>
座長	<p>ありがとうございました。クサゼロ運動はとても良い取組だと思えます。</p> <p>それでは、次の委員よろしく願いいたします。</p>
委員	<p>企業誘致について、根本的な話となりますが、この誘致とはこちらから働きかけているものなのか、それとも企業側から申し出ているものなのか、実際の件数も含め実態等を伺いたいと思えます。</p>
経済環境部長	<p>企業誘致について、申し上げます。</p> <p>取組といたしましては、パンフレットを作成しPRする形式、奨励金という優遇制度を活用し募る形式等を実施しております。従いまして、どちらかと言うと、企業側からの申し出を受ける形式を取らせていただいております。件数といたしましては、令和2年度3社、令和3年度はまだ予定ではございますが6社程申し出をいただいております。</p>
委員	<p>資料2の10ページの「②関係人口の創出・拡大」について、国も力を入れている取組のように感じております。ある調査を見たところ、ふるさと納税者についても、関係人口として含めている統計もございました。そこで、本庄市における関係人口の定義について、教えていただきたいと思えます。</p>
企画財政部長	<p>本市における関係人口の定義について、申し上げます。</p> <p>住んでおられる定住人口でもなく、観光等でお越しくくださった交流人口でもなく、積極的ではなくてもその他に何等かの形で本市に関わっていただいている方々を関係人口として認識しております。</p> <p>また、ふるさと納税者と関係人口について、申し上げます。</p> <p>ふるさと納税に関する数値が増加したご説明を事務局からさせていただいたと思えますが、本市といたしましては、このふるさと納税者を関係人口の増加としての取組でなく、まずは自主財源を伸ばすことを目標に掲げて推進しているところでございます。それに併せまして、このふるさと納税者の方々は、本市と関わっていただいている方々でありますので、関係人口の創出に繋がっている</p>

	<p>るとの状況となります。従いまして、本市におきましても委員のおっしゃるようなふるさと納税者も関係人口の1つと感じております。</p> <p>資料2の10ページの「②関係人口の創出・拡大」について、KPIが未設定となっておりますが、具体的な事業として新たに組み立てられておきまして、以前に市内6校及び特別支援学校1校にて「七高祭」という事業を実施していた経緯から、市内高校生を関係人口の対象として、積極的に新規事業に取り組んでいるところでございます。</p>
座長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、次の委員よろしく願いいたします。</p>
委員	<p>資料2の10ページの「⑧U I Jターンの促進」について、お聞きしたいと思います。今度副業者向けの事業をやる予定がありまして、理由としてはコロナ禍でどこでも仕事ができる環境になったことが背景にあります。例えば、本庄市出身の方で、大企業や都内の企業に勤めて、テレワーク等を転機に本庄市にUターン移住することになったとします。その中でさらに、市内企業に携わっていただいて、ご自身の経験等を活かすような時代が来たとします。その際、コワーキングスペース・サテライトオフィスの拡充等が今後重要になってくると思いますが、本庄市ではどのような方向性等になっているのか伺いたいと思います。</p>
座長	<p>ありがとうございます。コワーキングスペース・サテライトオフィスの拡充等について、事務局よりお願いします。</p>
企画財政部長	<p>コワーキングスペース・サテライトオフィスの拡充等について、申し上げます。</p> <p>本市といたしましても、おっしゃるような移住者やテレワーク等による関係人口の方に来ていただくことを考えております。</p> <p>まず、行政の取組について申し上げますと、「お試しテレワーク」という名称の事業に取り組みましたが、この懇談会の会場となっております早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンターの4Fのオープンスペースを活用させていただきました。</p> <p>期間といたしましては、5月～9月の約5か月間実施いたしました。そして、途中からは、中山道にある本庄レンガ倉庫1Fの交流スペースを活用することで、より拡充して事業を実施することができました。</p> <p>実際に実施期間中は、都内や市外の様々なテレワーカーの方々にご利用いただきまして、今後は民間においてコワーキングスペース等を設置するお話もありますので、行政からの需要が民間に</p>

	引き継がれる流れとなっております。
経済環境部長	<p>商工観光課において、サテライトオフィス・シェアオフィス補助といった補助金を設けさせていただきまして、設置費用の補助率3分の2、上限を200万円とさせていただき補助事業を実施しております。</p> <p>申請状況といたしましては、当初2件分を想定した予算でしたが、すぐに2件の申請が来まして、その後追加で2件補正させていただき、またすぐに2件の申請が来まして、合計4件の申請状況となっております。実際にオープンしたりまもなくオープンする事業者もございまして、当初想定していたよりも市内にサテライトオフィス等を設置したいと思ったださっている方々が多くいらっしゃるということがわかりました。</p> <p>いずれにいたしましても、今後どのように取り組んでいくか検討しているところでございます。</p>
座長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、引き続き委員よろしくお願いいいたします。</p>
委員	<p>私が感じておりますことは、新型コロナワクチン接種の受験を控える中学3年生・高校3年生を対象とした接種対応や英語検定料の補助をしていただいたり、本庄市の子供達に対する様々な取組に感謝しているところでございます。</p> <p>また、1つ伺いたいと思いますが、移住・定住施策について、例えば東京23区に赴いて、本庄市の移住に関するご案内等をしていただいているか伺いたいと思います。</p>
企画財政部長	<p>移住・定住に関するPRについて、申し上げます。</p> <p>主要事業として、「移住就業等支援金」という制度がございます。これは国が作った制度でございますが、市から最大100万円の支援金の交付を受けられる制度となっております。概要を申し上げますと、東京23区内にお勤め又は在住していたか等の様々な要件となっております。今年度に国が制度改正をしまして、先ほどお話に出ましたが、テレワークの方も要件に加わりました。その中で、今年度はすでに2件支出している状況となります。</p> <p>制度のPRについて、本市といたしましては、東京23区等で積極的にPRしていくことは、考えておりません。</p> <p>しかし、本市への移住・定住に係るパンフレットを都内の移住センターやイベントの際に、PRをしております。</p> <p>今後につきましては、もう1つ取組を考えておりまして、SNS等を活用した、PRを推進していく予定です。</p>
座長	ありがとうございました。

	<p>それでは、次の委員よろしく願いいたします。</p>
委員	<p>企業誘致の推進について、本庄市には工業団地があります。若い世代に働く場所がないから外に出ていく。それを止めなければならぬと考えます。工業団地内には、工業用地がまだありますが、そこには4m道路しかないため、開発ができません。よって、6m道路に拡幅する必要があると思います。</p> <p>また、私は3年前まで埼玉県のみち・ひと・しごと創生有識者会議に出席しておりましたが、川口市・戸田市にも工業団地があり、本庄市の工業団地にそれらの企業に移転すれば空きができるため、また別の企業誘致をすることができ、県内で一体的な企業誘致を推進できると思います。</p> <p>いずれにしても、本庄市に新しい工業団地を造成し、是非、企業誘致をしていただきたいと思います。</p>
座長	<p>ありがとうございます。それでは、事務局よりお願いします。</p>
経済環境部長	<p>まち・ひと・しごと創生懇談会の中で、委員におかれましては、以前からご指摘いただいていることと存じております。</p> <p>再度ご指摘を頂戴するかもしれませんが、なかなかすぐに取り組むことができる問題ではございません。先ほども申し上げたかもしれませんが、国や県と調整させていただいておりますので、時間をかけて本市においてどのような形が最適なのか検討させていただきますので、ご理解いただきたく存じます。</p>
委員	<p>市だけでは取り組むことが難しいと思いますので、ぜひ県と協力して取り組んでいただきたいと思います。</p>
都市整備部長	<p>申し遅れましたが、実は私は埼玉県から出向している職員でございます。この場ではっきりとは申し上げられませんが、色々と動いております。ただ時間が非常にかかる問題でございます。ご理解のほどよろしく願いいたします。</p>
座長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、次の委員よろしく願いいたします。</p>
委員	<p>農業振興の立場から申し上げます。新規就農者数は伸びておりますが、現状としてはなかなか厳しいという声も一部聞いております。よって、販売数や農業産出額等をより増やしていかなければならないと感じております。</p> <p>それから、具体的事業の「⑦埼玉園芸生産力強化整備事業」について、本庄市はキュウリの生産地でありますので、ありがたい取組だと思っております。</p> <p>資料2の10ページのKPI「新幹線を活用した施策利用者数」の詳細について、ご説明をお願いしたいと思います。</p>

企画財政部長	<p>KPI「新幹線を活用した施策利用者数」について、申し上げます。こちらは魅力創造の基本戦略の中で、新幹線の活用を図っていくという個別施策の活動指標でございます。この指標につきましては、「住みえる応援金」という本市への転入者で住宅取得を応援する事業がございまして、その事業の加算要件に新幹線通勤の加算要件を加えております。従いまして、指標の1つに設定している経緯がございます。</p> <p>現状といたしましては、新幹線通勤をしている世帯は実際の申請件数である3件より多かったですのですが、会社が全額交通費を負担していて加算要件に該当しないケースが見受けられました。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>最後に、農地等に対する土地利用について、お話が出ておりましたが、事情は理解しておりますが、もし代替策等があればご検討をお願いします。</p>
座長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、次の委員よろしくお願いいいたします。</p>
委員	<p>2点ほど伺いたいと思います。</p> <p>「103 住みえる応援金(再掲)」、「104 本庄市移住就業等支援金」について、事業の評価が意外と低いという印象を受けました。住みえる応援金については、164件もの申請件数があり、住みよさランキングにおいても、総合順位全国180位であったため、それらを総合的に判断すると、KPIとしては下がっておりますが、もう少し評価をしても良いのではないかと考えております。策定時の設定方法等が少し違ったのかなと思われました。</p> <p>ふるさと納税も非常に伸びている結果もございますので、それをより活用することで、他の施策・事業をより推進できると良いのではないかと考えております。</p>
座長	<p>ありがとうございました。それでは、事務局よりお願いします。</p>
企画財政部長	<p>2点について、申し上げます。</p> <p>事業の評価が低かったのではないかとという件につきましては、委員のおっしゃるとおり、住みえる応援金の申請件数はそれなりに申請をいただいておりますが、交付もさせていただいておりますが、KPIの数値等を考慮し「B評価」とさせていただいております。</p> <p>本庄市移住就業等支援金につきましては、令和2年度の実績がないことや事業が活用されていない状況から、国としても制度の見直しが令和3年度に行われ、テレワークや関係人口による転入なども追加されましたので、令和3年度に利用者が期待されると</p>

	<p>いう見込みから、「E評価」とさせていただいております。</p> <p>ふるさと納税につきましては、市として受入窓口となるふるさと納税サイトの数を増やし、クレジットやアマゾンペイなど複数の寄附方法を導入しました。そして、本庄商工会議所の皆様にもご協力いただきまして、魅力ある返礼品の開拓を進めているところでございます。</p> <p>この2点によりまして、事業を推進しているところでございます。</p>
座長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、次の委員よろしく願いいたします。</p>
委員	<p>住みやすいまちづくりのため、様々な施策に取り組んでいただき、ありがとうございます。目標達成した施策につきまして、より高みを目指し取り組んでいただければと思います。</p> <p>コロナ禍で思うように取り組むことができなかった施策も色々あるようですが、今後は「With コロナ」の時代ですので、それを理由にできない部分が出てくると思います。従いまして、「After コロナ」における施策として、もう一段階掘り下げることで、より推進していただきたいと思います。</p>
座長	<p>ありがとうございました。委員のおっしゃるような2点を考慮し、市として取り組んでいただきたいと思います。</p> <p>それでは最後となりますが、次の委員よろしく願いいたします。</p>
委員	<p>本日のお話から転入者及び自然増を目標に様々な施策に取り組んでいただいていることがわかりました。</p> <p>他の委員からのご意見がありましたが、早稲田の杜地区における開発等について、伺いたいと思います。高さ制限が設けられていると伺っておりますがいかがでしょうか。</p>
座長	<p>ありがとうございます。それでは、事務局よりお願いします。</p>
都市整備部長	<p>早稲田の杜地区における開発等について、申し上げます。</p> <p>産業系の開発につきましては、まず場所の制限等は基本的にございませぬ。よって、本庄児玉 IC 付近もあれば工業団地周辺という可能性もございますので、どのように発展していくのか等を総合的に勘案していくことが重要と思っております。</p> <p>そして、先ほども申し上げたかと思いますが、農地等に対する土地利用につきましては、様々な関係機関等との調整や課題がございますので、それらを踏まえまして、場所の選定、面積の選定、地権者や周辺住民等の合意形成等を図っていくこととなります。ただ時間が非常にかかる問題でございますので、ご理解のほどよろ</p>

	<p>しくお願いいたします。</p> <p>早稲田の杜地区の高さ制限につきましては、本庄早稲田駅周辺地区の地区計画において、一部の地区に20メートルの高さ制限がございます。マリーゴールドの丘公園からの景観のように非常に見晴らしの良い地区でございますので、それらを阻害しないようにとの考えがございます。</p>
委員	<p>本庄市として具体的な構想があつて、関係機関と調整しているということでしょうか。</p>
都市整備部長	<p>なかなか具体的に目に見える形で動きがないため、市として取り組んでいないように見えるかと思いますが、市としてもこのままで良いとは決して思っておりませんが、非常に時間と労力も必要なことでございますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>良い労働環境等の推進のため、よろしく申し上げます。</p>
委員	<p>例えば、道路一本が増設されるだけでも、環境が飛躍的に変わってくると思いますので、他自治体等も参考にしながら取組をお願いします。</p>
座長	<p>非常に貴重な意見がたくさん出ました。ありがとうございます。資料2を主に話しましたが、非常に様々な意見や熱意のある要望も出ましたので、市として真摯に受け止め、今後取り組んでいただきたいと思います。</p> <p>委員の皆様、今回の令和2年度評価検証について、概ねこの評価でよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">＜委員ご意見等なし＞</p> <p>それでは、評価検証を認証したいと思います。</p> <p>以上で、議事を終了とさせていただきます。座長の席を降ろさせていただきます。議事進行へのご協力と熱心なご意見に感謝申し上げます。</p>
事務局	<p>皆様、貴重なご意見大変ありがとうございました。</p> <p>また、座長を務めていただきました委員、大変ありがとうございました。</p>
6. 閉会	
事務局	<p>以上をもちまして、本日の議事はすべて終了いたしました。</p> <p>長時間に渡り貴重なご意見をいただきまして、誠にありがとうございました。令和3年度第1回まち・ひと・しごと創生懇談会を閉会いたします。</p>

様式